

# 脂肪滴蛍光染色剤 ShoyakuGreen



## 特長

- 極大吸収波長 404 nm、極大蛍光波長 473 nm (*n*-ヘキサン中)
- 脂肪滴への高い特異性
- 低い細胞毒性

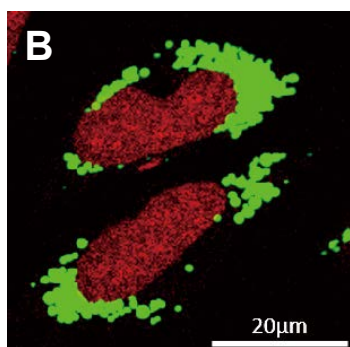
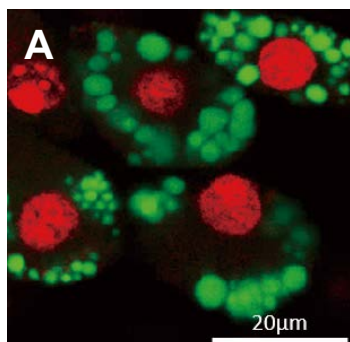
ShoyakuGreen (= TFMAQ-8Ph)

2 mg 18,000円

[T3935]

引用文献 Y. Fuchi, K. Hamada, S. Karasawa, *et al.*, *Sci. Rep.* **2019**, *9*, 17723.  
<https://doi.org/10.1038/s41598-019-53882-z>

## 使用例: 脂肪滴染色



(Leica TCS SP5で撮影)

### <細胞の用意>

- A) 3T3-L1 細胞の培地に分化用の試薬を添加し、10 日間培養  
B) HeLa 細胞の培地にオレイン酸を添加し、48 時間培養

### <ShoyakuGreen の調製>

ShoyakuGreen を DMSO で溶解して 1 mM ShoyakuGreen 溶液を調製  
1 mM ShoyakuGreen 溶液を培地で希釈して 1 µM ShoyakuGreen 含有培地を調製

### <脂肪滴染色手順>

1. 1 µM ShoyakuGreen (緑) を含む培地に置換して 37°C で 30 分間培養
2. 培地を取り除き、PBS(-) で 3 回洗浄
3. PBS(-) を取り除き、4% PFA を添加し室温で 10 分間処理
4. 4% PFA を取り除き、PBS(-) で 3 回洗浄
5. PBS(-) を取り除き、0.1% Triton X-100 を添加し室温で 15 分間処理
6. 0.1% Triton X-100 を取り除き、PBS(-) で 3 回洗浄
7. PBS(-) を取り除き、100 µg/mL RNase を添加し 37°C で 20 分間反応
8. 100 µg/mL RNase を取り除き、PBS(-) で 3 回洗浄
9. PBS(-) を取り除き、5 µg/mL PI (赤) を添加し 15 分間核染色
10. 5 µg/mL PI を取り除き、PBS(-) で 3 回洗浄
11. 封入して蛍光顕微鏡で撮影

本製品は、唐澤悟 教授、瀧靖史 博士、濱田浩一 講師によって開発された技術をもとに製品化されました。

## 東京化成工業株式会社

■本社営業部 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-10-1  
Tel: 03-3668-0489 Fax: 03-3668-0520  
E-mail: Sales-JP@TCIchemicals.com

■大阪営業部 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜1-1-21 第2中井ビル1階  
Tel: 06-6228-1155 Fax: 06-6228-1158  
E-mail: osaka-s@TCIchemicals.com

□化成部品 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-10-1  
Tel: 03-5651-5171 Fax: 03-5640-8021  
E-mail: finechemicals@TCIchemicals.com

弊社製品取扱店

やむを得ず品目の削除や掲載内容の変更を予告なく行う場合があります。  
内容の一部または全部を無断で転載あるいは複製することはご遠慮ください。